大昔の生き物



現在から時代をさかのぼって、大昔の生物を探しに出かけます。

順番に昔の世界へタイムスリップしていきます。

新生代　**現在～約６５００万年前**

問題　展示番号１８



この写真はこの展示室に展示してある動物の体の一部です。この展示を探して、動物の名前と、体の部分の名前を書いてください。

ヒント：陸上にすむ哺乳類です。

動物の名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

体の部分＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

哺乳類は新生代に入ってから大繁栄しました。

中生代　　**約６５００万年前～約２億５０００万年前**

問題　アンモナイトベンチ



アンモナイトベンチにある日本で発見された中で最大級のアンモナイトを見てください。触ることもできます。

アンモナイトは古生代後半や中生代に生きていました。さて、アンモナイトはどのような場所で生活していて、次の生き物の中でどれに一番近い仲間だと思いますか。それぞれ○をつけてください。

生活場所	ア　海の中	イ　木の上	ウ　土の中
近い仲間	エ　カタツムリ	オ　イカ	カ　サザエ

いまみなさんが見ているものはアンモナイトのカラの化石です。生きていたときはどんな姿をしていたのか想像して絵を書いてみてください。

肉はくさってしまうので、めったに化石として残りません。

古生代　約２億５０００万年前～約５億７０００万年前

問題　ウミユリベンチ



ウミユリベンチでウミユリを見てみましょう。こう見えてもウミユリは植物ではなくウニやヒトデと同じ仲間の動物です。ウミユリはどのようにしてエサを食べるか考えて、下から選び○をつけてください。

ア　近くに泳いできた魚などに飛びついて、ウデで捕まえて食べる。

イ　長いウデをひろげて、水中をただよう小さな生物を捕まえて食べる。

ウ　植物と同じように光に当たると栄養を作り出すことができる。

ウミユリは古生代に現れてから、今でもその子孫が姿がほとんど変わらずに海の中にすんでいます。こういうものを「生きた化石」とよびます。

問題　展示番号１～１５

他にも古生代の生き物を展示室で探して名前を書いてください。

先カンブリア時代　　**約５億７０００万年前～約４６億年前**

問題　展示番号８



これはストロマトライトといいます。

このしま模様は『ランソウ』という小さな生物の働きによって海水中の泥が何層にも積み重なってできたものです。

地球の歴史の中でランソウはとても重要な働きをしました。この働きがなければ、地球にこれほどたくさんの生物は生まれなかったかもしれません。その働きとは何でしょうか、下から選び○をつけてください。

ア　水を作り出す

イ　光を受けて、酸素を作り出す（光合成）

ウ　いろいろな生物の卵を産む

地球ができたのがおよそ４６億年前。
地球上に初めての生命が誕生したのが約３５億年前ですが、様々な種類の生物が数多く現れたのは約６億年前のことです。